会津地域デマンド交通共通予約基盤整備事業｜会津Samurai MaaSプロジェクト協議会

プロジェクト概要

会津地域では複数のオンデマンド交通が運行されているが、自治体ごと・運行システム提供企業ごとに予約サービスが分断され、自治体ごとのアプリ導入・個別ユーザ登録が必要で特に観光客には煩雑な状況がある。本事業では標準仕様に準拠した共通APIレイヤーを新規構築し、複数のプラットフォームを疎結合に統合、SamuraiMaaSアプリへ接続し、1つの共通アプリから地域内の異種オンデマンド交通を横断的に予約可能とする。

課題

会津地域の5市町でAIオンデマンド交通が運行されているが、運行エリアごとに予約サービスが分断。観光客は自治体ごとにアプリ導入・個別ユーザ登録が必要で煩雑な状況がある。

取組内容

- 国交省COMmmmONS「デマンドバスシステム連携API標準仕様書」に準拠した共通APIレイヤーを新規開発し、Via・Spare Labs（のるーと）双方のAPIと疎結合に接続する。
- 共通APIレイヤー完成後に会津SamuraiMaaSへ接続し、1つの共通アプリから地域内の異種オンデマンド交通を横断的に予約可能とする。
- 今後Via・のるーと以外のオンデマンド交通システムにも順次対応し、鉄道・バスに加えオンデマンド交通を包含した本来のMaaSを地域全体で実現する。

事業要件

- システム統合による業務効率の向上（共同化）

技術要件

- デマンドバスシステム連携API標準仕様書

効果

- 観光客・住民が1つのアプリ（Samurai MaaS）で地域内の異種オンデマンド交通を横断予約でき、自治体ごとのアプリ導入・個別ユーザ登録が不要に（予約導線の一元化）。
- 標準API（COMmmmONS準拠）により新規システムの接続コストを大幅削減。GTFS-flexのオープンデータ化で広域の経路検索・データ活用が進展し、持続可能な地域交通に寄与。

事業実施自治体・エリア

喜多方市、磐梯町

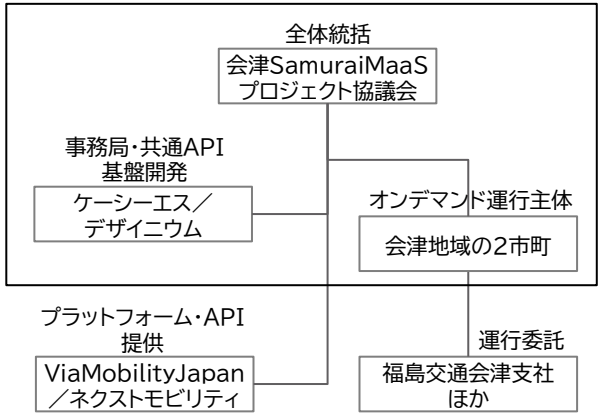
交通事業者

福島交通会津支社（喜多方市・磐梯町）
喜多方交通、八七一タクシー、山都タクシー、塩川タクシー（喜多方市）

アプリ・システム等

- アプリ・システム：利用者アプリ＝SamuraiMaaS
- データの取得方法： 各デマンド交通システムAPIから共通APIレイヤー経由で取得
- データの活用方法：
  標準API（デマンドバスシステム連携API）準拠の共通予約基盤を介し、Via・のるーと双方のオンデマンド交通をSamurai MaaSから横断予約

座組



スケジュール

- 8月～9月 要件定義・基本設計
- 9月～12月 共通APIレイヤー開発
- 11月～1月 SamuraiMaaS連携・導入
- 2月 効果測定・とりまとめ

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.